

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



校長通信  
大潟村立大潟中学校  
令和2年4月28日(火) 発行  
NO.1 文責:安田 和人



## 令和2年度 大潟中学校始動!

4月6日(月)、校長を含めて8名の教職員が新2、3年生と初めて対面し、新任式と始業式が行われました。翌7日(火)の入学式では、新型コロナウイルス感染防止のために全員のマスク着用、時間短縮、三つの密を避けるなどの配慮をし、保護者の皆さまが見守る中、厳粛な雰囲気で行われ、新入生が大中学生の仲間入りをしました。

### □「凡事徹底」、「挑戦・具体的な目標・読書」

始業式の校長挨拶では、高校時代に毎日10分間欠かさず実行したイチロー選手の素振りの話をし、『凡事徹底』の大切さについて伝えました。誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底してやり続けることは、とても難しいことですが、確実な成果をもたらします。また、入学式の式辞では、新入生に中学生になって心がけてほしい三つのこと、「失敗を恐れず挑戦する」「具体的な目標をもつ」「読書」について話をしました。

### □ 学校教育目標：志高く 英知を磨き 扉をひらく

校訓である「創造 充実 発展」の行動目標は、「活発な話合い、明るいあいさつ、元気の歌声」です。

今年度の学校教育目標の中にある『志』は、自分の人生に対する“決意”を、『英知』は未知の状況に対応できる“知恵”を、そして『扉』は未来・相手・自分の“心や可能性”を表しています。

目指す学校像は、地域とともに元気と活力、絆を大切にし、トライ&チャレンジの精神に満ちた「自立的に行動できる生徒を育てる学校」としました。

### □ 思いやりの心と基礎・基本の徹底

今年度の学校経営上の大きな柱は、生徒に「思いやりの心」を育てることと、何事においても「基礎基本を徹底」して身に付けることができるようにすることです。思いやりとは、「自分も自分以外の人も大切にすること」であり、基礎基本とは、何かをする際に必要不可欠な土台となるもので、繰り返し学習することで習得され、次の学習に生かせるもののことです。

## 新任の教職員を紹介します。



昔から読書が好きでした。高校生のとき、友だちの影響で歴史が好きになり、それを小説で読むことで様々なことを知ることができました。この読書好きが国語教師になった大きな理由です。授業自体は未だに自信はありませんが、生徒たちが楽しく学べるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。(3年部主任 川○ ○悦)

4月から大潟中学校にお世話になっている櫻○央です。八郎潟町出身で、大潟村には若い頃から何度も訪れていましたが、大潟村の学校に勤務するのは初めてとなります。また、中学校勤務は3年ぶりですので、早く慣れて、大潟中学校の一員として頑張っていきたいです。よろしくお願いいたします。(1C担任 櫻○ ○央)

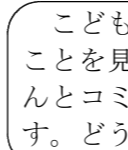


秋田市から参りました上○真です。どうぞよろしくお願いいたします。今年度、保健体育の授業を通して3学年の生徒たちと一緒に身体を動かしながら、一人でも多くの生徒に体育の楽しみや喜びを感じてもらえるように努力したいです。サッカーやバドミントンなどの様々な競技に触れてきた経験を活かして指導していきます。(1A担任 上○ ○真)

今年度から大潟中学校に勤務することになりました佐○太と申します。担当教科は社会科で、野球部の監督を務めます。6年ぶりに地元秋田に戻ってきましたが、懐かしさを感じています。授業や部活動の関わりを通して、生徒の背中を後押しするだけでなく、私自身も一緒に成長する1年間にしたいと思っています。(2年部 佐○ ○太)



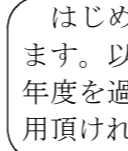
今年度、こども園から異動になりました。中学校は初めてですが、今年担当する1年生の子どもたちと一緒に、一つ一つ学びながら成長していきたいと思っています。まだ緊張したり、ドキドキしたりの日ですが、初心を忘れず頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。(1年部支援員 佐○ ○子)



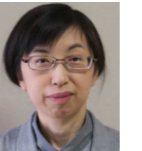
こども園から異動になりました門○です。子どもたちと一緒にワクワク、ドキドキすることを見付けるのが大好きです。中学校の3年間はとても大切な時期でもあるので、皆さんとコミュニケーションを取りながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。(2年部支援員 門○ ○子)



3月に大潟小学校を卒業し、隣の大潟中学校に異動となりました。自身の中学生時代を思い出しながら生徒たちの活動を見てみると、「今時の中学生は立派だなあ」とつくづく感じます。大潟中のOBであり、地域の大人である立場の者として、彼らが安心して大潟村を巣立っていける手助けができればいいと思っています。(3年部支援員 田○ ○大)



はじめまして。今年度、学校のスクールカウンセラーを担当させて頂く戸○愛と申します。以前も勤務させて頂いたことがありますので、校舎など懐かしく思い出しながら新年度を過ごさせて頂いております。今後ともどうぞ気軽にスクールカウンセリングをご活用頂ければ幸いです。(スクールカウンセラー 戸○ ○愛)



## 言葉遣いは心遣い

誰もが居心地のよい学級で安心して過ごし、楽しい仲間がいることを望んでいます。そうした学級や仲間をつくるために大切にしてほしいものがあります。それは「言葉」です。

人と人との関係をつくるコミュニケーションをとるために「言葉」は必要であり、お互いを理解するために「言葉」は重要な働きをします。たとえば、朝の「おはよう」のあいさつがそうです。

「言葉遣いは心遣い」といい、その言葉をつかう人の人柄を表します。「心遣い」とは、気を配ることであり、相手を思いやり、相手の立場に立って考えた行動や言葉のことを言います。その人が何を話し、どのような言葉遣いをするかによって、私たちはその人の性格や考え方など、その人がどんな人なのかを判断します。

皆さんも、ある言葉によって慰められたり元気づけられたりしたこともあれば、傷つけられたりつらい思いをしたりしたことがあると思います。人間は、自分の思い通りにならないと腹を立てたり、いつも人のせいにしてしたりするなど自己中心的になりがちです。そんな時に、乱暴で人を傷つけるような言葉を使ってしまうのです。

しかし相手の気持ちを考え、少しの心遣いをするだけで、自然に言葉遣いはいいになり、相手を心地よくさせることができます。

皆さんは、友だち同士、学級でどんな言葉を交わしていますか。どんな言葉による言葉遣いがみられるでしょうか。ちょっとした言葉の心遣いで笑顔が多く見られ、温かみのあるそんな学級、学校になることを願っています。